

「憧れ」を胸に



コーアツ工業株式会社
技術開発部 技術課 技術係
しお た あき ひろ
塩田 晃大

「ものづくり」に対する私の原点

祖父が薩摩琵琶という鹿児島伝統楽器を作る職人だった私にとって「ものづくり」は、幼少期から身近なものでした。

今から50年以上前、当時、作り手もおらず、途絶えかけていた薩摩琵琶を独学で復活させ、生涯をかけてその伝統を今の時代に残したのが私の祖父でした。そんな祖父の姿を見て、「ものづくり」や「一つの分野を極める」ということ、そして、「地元・鹿児島のために働く」ということに強く憧れたのを覚えています。

コーアツ工業との出会い

県外の大学で電気電子工学を専攻していた私でしたが、憧れを捨てきれず、「地元」で「ものづくり」に携わる就職先を探していました。そこで、弊社・コーアツ工業の存在を知るに

至ります。鹿児島に本社を置き、県内においても施工実績が多数、さらには鹿児島で唯一のPC専業者、「我が憧れにこれほど合致する就職先が他にあるうか」と感じた私は、門外漢であることを傍らに置き、採用試験に応募、無事に採用されることとなりました。

入社して今日まで

入社後、一年間の現場経験を経たのち、技術開発部に配属されました。この部署は施工管理をメインとする弊社の設計部門であり、施工現場の計算書や図面の照査、現場施工に対する構造計算などのサポートが主な業務となります。現場経験が一年あるとはいえ、毎日、指示されたことをこなすだけで精一杯の現場生活を過ごしていた私には、PC橋についての知識はほとんど身につけていませんでした。そんな状態でまともに設計業務ができるのか、不安でいっぱいでしたが、諸先輩方の手厚いご指導のおかげで、今日まで何とか業務を遂行できています。照査業務では、計算書における計算結果や検討方法の正否、計算書と図面、あるいは図面同士の整合性の確認を行います。くわえて、施工時に発生する問題を予測し、現場と相談しながらより良い

改善策を模索することも必要になります。自分で考え、改善策を提案したものが、実際の現場で反映されている状態を見ると、自分も社会の一員として貢献できているという実感が得られ、喜びを感じます。その一方で、照査における自分の判断が橋という公共物に良くも悪くも影響を与えてしまうという事実にも身の引き締まる思いで日々を過ごしています。

「橋」に対する認識の変化

幼少期からの憧れを叶えるべく「ものづくり」の世界に飛び込んで数年が経ちました。入社当時、思い描いていた形とは幾分違うところもありますが、「PC橋」という一つの分野で、地元を含む様々な地域のために働けることを感慨深く思っています。最近では、出先でコンクリート橋を見かけると、「どんな構造だろう」「この部分の構造はどんな設計思想に基づいたものだろう」など、ふと気になることが多くなってきました。入社以前は「ただの橋」だったものが今では、興味の対象に変わりつつあります。まだまだ分からないことも多く、とても一人前の設計者とは言えませんが、この好奇心と憧れを大切にしながら精進していきたいと思っています。



▲ 照査業務(疑問点を先輩に質問中)



▲ 初めて照査を担当した橋梁



▲ 薩摩琵琶の職人だった祖父

#006 仕事場拝見

「ありがとう」を
力に変えて



オリエンタル白石株式会社
本社情報システム部
よこあかね
横田 明音

正社員としての新たなスタート

私は2022年4月に、派遣社員として、オリエンタル白石株式会社での業務をスタートしました。配属先は情報システム部です。当時はパソコンに関する専門知識も乏しく、日々の業務をこなすことに精一杯でしたが、周囲の先輩方の温かいご指導のおかげで、少しずつ自分でできる業務を増やしていきました。そして今年1月、正社員として登用され、身の引き締まる思いで新たなスタートを切ったところです。

現在は、これまでの経験を活かしつつ、一人前の担当者としてより一層会社に貢献し、周囲から頼られる存在となることを目指して日々奮闘しております。

現場に寄り添う業務と成長の醍醐味

私の主な業務は、全国各地の拠点から寄せられる問い合わせへのユーザーサポートです。電話やメールを通じて迅

速な解決を図る際、操作に不慣れな方へは単に答えを提示するだけでなく、手順のポイントを丁寧にお伝えすることで、社内全体のITリテラシー向上にも繋がるよう意識しています。

また、全社で数千台を超えるパソコンやモバイル端末のセットアップから貸出し、不具合時の代替機発送、さらにはLCM（ライフサイクル管理）に基づいた資産管理までを一貫して担当しています。これまでの業務の中では、Windows 11への移行対応やOffice 2024の導入支援といった全社規模のプロジェクトも経験しました。私は、大学時代は文系で知識ゼロからのスタートでしたが、情報システム部の仕事は定型的な管理業務から、こうした難易度の高い課題解決まで毎日異なる刺激があります。それが私にとっては良い気分転換になり、飽きることなく楽しく仕事に取り組んでいる理由だと感じます。技術的な壁にぶつかるともありませんが、自分なりに考え抜いた答えに対し、先輩方からの確かなアドバイスをいただく過程が、何よりの学びとなっています。社員の皆さんから「助かったよ」と感謝をいただけること、そして時には故障機の返送と共にお礼のお菓子が届くような温かい交流が、この仕事の醍醐味です。こうした「ありがとう」の一言が、次もまた頑張ろうという私自身の大きな力になっています。

オンとオフ

仕事の充実がプライベートの充実があつてこそだと思っております。勤務地である江東区豊洲は、東京都内はもちろん千葉県へのアクセスも良く、ディズニーが好きな私は仕事が終わった後にディズニールランドへ足を運び、疲れを忘れて楽しむこともあります。オンの時間は集中して業務に取り組み、オフの時間は好きな場所で過ごすことで、また翌日から新鮮な気持ちでサポートに向き合うことができていると思います。こうしたメリハリのある生活が、日々の仕事に対する高いモチベーションを支えてくれています。

最後に

正社員になった際、日頃電話やメールで接している社員の皆様から「今後もずっとお世話になるね」とお祝いの言葉をいただきました。今後は新入社員研修や各拠点への出張など、これまで直接お会いする機会が少なかった皆さんと、顔を合わせてお話しできる機会も増える予定です。「体どんな方なのだろう」と今からわくわくしながら楽しみにしています。これからも、多くの方からいただく感謝の言葉を力に変えて、より頼られる存在となれるよう精進してまいります。



▲ 仕事終わりの楽しみ



▲ 動画配信準備中



▲ オフィスでの様子

橋にハマった私



日本高圧コンクリート株式会社
PC事業部東京支社 技術部

うらかわ しんり
浦川 慎利

きっかけ

「構造物を造るなら橋が一番カッコいいな」と漠然と思っていた高専生時代の私。企業説明会で採用担当者との出会い、橋に対する熱い想いに惹かれた私は当社で橋の世界に足を踏み入れることを決めました。

心揺さぶられた初現場

初現場はPC5径間連続ラーメン箱桁橋で、柱頭部の施工中に合流しました。まずは工事の規模の大きさに圧倒され、この工事に携われるのかと胸が高鳴ったことを今でも覚えています。

しかしそんな日々も束の間です。安全朝礼では工事関係者の前であたふたし憂鬱になっていたり、「目地棒」を「ネジボン」と聞き間違え余計な段取りをしてみたりと、いろいろな初めての経験に翻弄されました。思

い返してみれば、ふと笑ってしまふことばかりの楽しい初現場でした。

現場のやりがい

これまで私は北海道、栃木県、愛知県、三重県の現場に従事してきました。その中でも強く印象に残っているのは栃木県那須塩原市で施工した歩道橋です。この歩道橋は国道を横断し丘の上にある神社への参道ともなるため、勾配50%の階段部を含む特殊な形状でした。

これほど急勾配の橋は社内でも前例が少なく、実績に基づいた考え方は通用しないことも多くありました。計算上、理屈上は可能であっても、実際に自分で判断を下すというのはなかなか怖いものです。しかしその分完成した時の感動や達成感も大きく、改めて頑張つて良かったなと心から思いました。

また竣工後に、SNS上でこの歩道橋に関する投稿を見つけました。それは歩道橋上から初日の出を多くの人々が望む写真で、「たくさんの人が集まる場所ができたことが嬉しいですね」と添えられていました。決して規模の大きな現場ではありませんでしたが地域の方々の喜びを感じたことで、私の技術者人生の中で大きく記憶に刻まれる橋になりました。

そして今

今年で入社7年目となる私は今、北海道の南西沖に位置する奥尻島で美しい海に囲まれながらPC6径間連結T桁橋の施工に従事しています。この現場では、主桁製作と架設作業を並行して施工を進めています。屋外環境での主桁の現場製作、主桁の横取り方法、引出し時の安全対策、その他あらゆる面で覚えることが山積みです。

また最近では赴任先での楽しみ方も覚え、その土地を満喫することにも余念がありません。「奥尻ブルー」と呼ばれる翡翠色の海は圧巻の美しさです。休日是一人その海を堤防の上から眺め癒されています。

いつかまた何処かで

これから先も橋を造る仕事を続けたいと思えるのは、温かく接してくれた上司、先輩、職人さん、そして地域の方々のおかげです。早く一人前になれるよう、このまま立ち止まることなく成長していきたいと思っています。

そして、いつかまた何処かで再び出会えた時には「こんなにできるようになりましたよ！」と胸を張って報告したいです。



▲現場から眺める「奥尻ブルー」



▲栃木県で施工した歩道橋



▲初めて従事した現場(北海道の箱桁橋)